

令和7年度性の多様性に関するアンケート調査 集計結果

○ 調査の概要

調査概要 :

近年の同性婚訴訟や、令和5年6月の「性的指向及びジェンダーアイデンティティの多様性に関する国民の理解の増進に関する法律」の施行等を契機として、性的少数者に対する社会的な関心が高まっており、それに伴い、性的少数者的人権問題について考える機会も多くなっています。

長崎県では「長崎県人権教育・啓発基本計画」に基づき、温もりと心の豊かさが実感できる人権尊重社会の実現を目指して様々な人権教育・啓発に取り組んでおり、性的少数者的人権についても同計画の重要課題の一つに位置付け、教育・啓発等の各種施策を進めています。

今般、県政モニターの皆様に性的少数者的人権に関する認識や県の取組みについてご意見を伺うことで、今後の施策等の検討に活用することを目的としています。

調査期間 : 令和7年5月30日(金)~6月20日(日) (22日間)

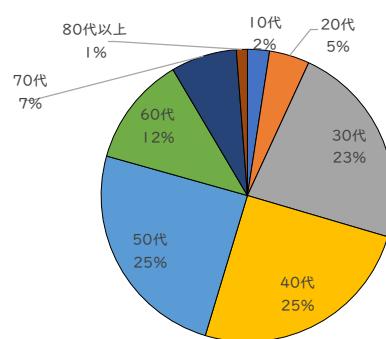
調査対象 : WEB県政アンケート全モニター347名

回答数 : 247名 (回答率71.2%)

調査担当課 : 長崎県県民生活環境部人権・同和対策課

○ 回答者の年齢構成

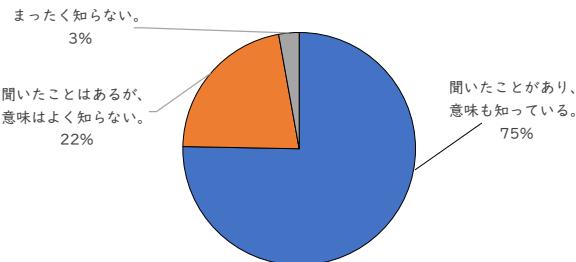
年齢	人数	構成比
10代	6	2.4%
20代	11	4.5%
30代	56	22.7%
40代	62	25.1%
50代	61	24.7%
60代	30	12.1%
70代	18	7.3%
80代以上	3	1.2%
合計	247	100.0%



性的少数者（LGBT）に関する次の言葉を聞いたことがありますか。また、意味を知っていますか。

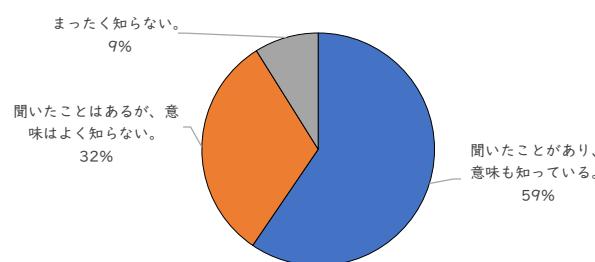
Q1-1. 性的少数者（LGBT）

選択肢	人数	構成比
聞いたことがあり、意味も知っている。	186	75.3%
聞いたことはあるが、意味はよく知らない。	54	21.9%
まったく知らない。	7	2.8%
合計	247	100.0%



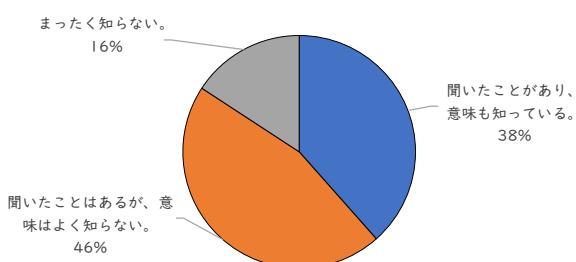
Q1-2. 性的指向

選択肢	人数	構成比
聞いたことがあり、意味も知っている。	147	59.5%
聞いたことはあるが、意味はよく知らない。	78	31.6%
まったく知らない。	22	8.9%
合計	247	100.0%



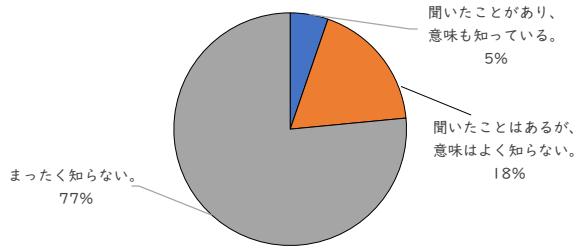
Q1-3. ジェンダーアイデンティティ

選択肢	人数	構成比
聞いたことがあり、意味も知っている。	95	38.5%
聞いたことはあるが、意味はよく知らない。	113	45.7%
まったく知らない。	39	15.8%
合計	247	100.0%



Q1-4.SOGI

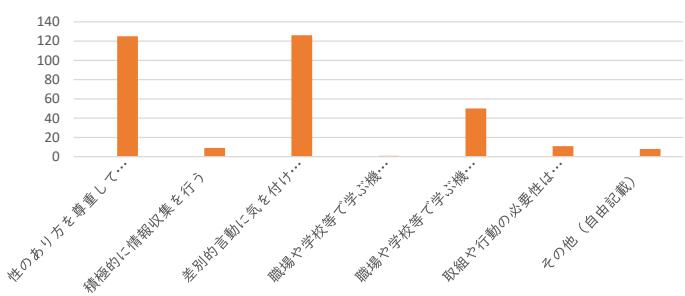
選択肢	人数	構成比
聞いたことがあり、意味も知っている。	13	5.3%
聞いたことはあるが、意味はよく知らない。	45	18.2%
まったく知らない。	189	76.5%
合計	247	100.0%



次に、性的少数者（LGBT）に関する施策についてお尋ねします。

Q2.性的少数者（LGBT）の人権について、あなた自身が取り組んでいることはありますか。（複数回答可）

選択肢	全体
性のあり方を尊重している	125
積極的に情報収集を行う	9
差別的言動に気を付ける、気づいたら注意する	126
職場や学校等で学ぶ機会はあるが、気づいても対応できず、行動につながっていない	1
職場や学校等で学ぶ機会がなく、行動につながっていない（できることがわからない）	50
取組や行動の必要性を感じない	11
その他（自由記載）	8



職場や学校等で学ぶ機会はあるが、気づいても対応できず、行動につながっていない主な理由

- どのように接したらよいのか、わからないからそっとしている。

取組や行動の必要性を感じない主な理由

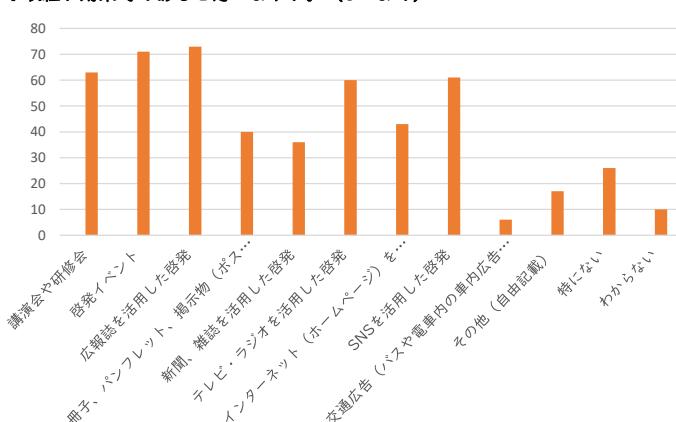
- 特に意識しなくとも、その人の考えを尊重できる。
- 自分の周りに、そのような人はいない。LGBTの人に会ったことも無いし、話をした事も無いので、その考えが良く理解できない。

その他の主な内容

- 意識していない。意識することで差別につながると思うから。

Q3.性的少数者（LGBT）の人権を理解するためには、県のどのような取組が効果的であると思いますか。（3つまで）

選択肢	全体
講演会や研修会	63
啓発イベント	71
広報誌を活用した啓発	73
冊子、パンフレット、掲示物（ポスターなど）	40
新聞、雑誌を活用した啓発	36
テレビ・ラジオを活用した啓発	60
インターネット（ホームページ）を活用した啓発	43
SNSを活用した啓発	61
交通広告（バスや電車内の車内広告など）	6
その他（自由記載）	17
特になし	26
わからない	10



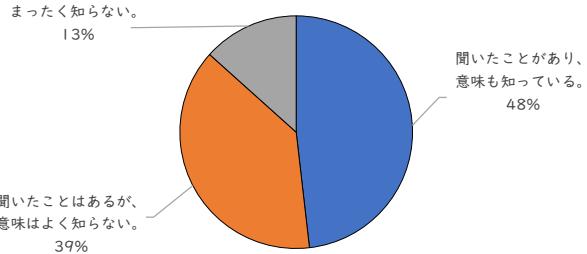
その他の主な回答

- 教育に力をいれる。
- 県や市で取り組む必要のあるものとは思わない。
- 正直わかりませんが、当事者がどうして欲しいのかも聞いてみた方がいいかもです。まずは原因というか、元となる方のご意見を伺ってからでも。

パートナーシップ宣誓制度についてお尋ねします。

Q4.パートナーシップ宣誓制度という言葉を聞いたことはありますか。また、意味は知っていますか。

選択肢	人数	構成比
聞いたことがあり、意味も知っている。	119	48.2%
聞いたことはあるが、意味はよく知らない。	95	38.5%
まったく知らない。	33	13.4%
合計	247	100.0%



Q5.パートナーシップ宣誓制度について、ご意見等ありましたら自由にお書きください。

主な意見

- 多様な生き方を尊重する制度として県内全域に広まって欲しいと思います。
- 多様な社会確立の基本の一つなので、積極的な導入、広報を期待します。
- 法的な効力はないとしても、ご本人達にとって区切りとなり、良いと思う。
- こういった取り組みが性的少数者の支えになればいいと思いました。
- パートナーシップ宣誓制度を利用なさった方々への自治体サービスが今後、もっと充実した方が良いように思います。
- もっと広い自治体で取り入れるべき。
- どのような行政サービスを受けることが出来るのか、具体的に開示したり、SNSを使用して、もっと若い人たちにも目が届くようにした方が良さそう。
- 結婚でも偽装する人がいて。だからこそ、パートナーシップ宣誓制度は慎重にした方がいいと思う。女装して犯罪をする人もいて、宣誓制度には一定の条件も必要だと思う。
- したければしたらよいかなと思う制度であり、あまり必要性は感じられない。
- 今は多様性の尊重に振れ過ぎて逆差別にならないか、とても心配です。
Noisy Minorityの声の大きさに押されて、Silent Majorityが声を潜めながら反感を抱く…といった図式を危惧します。
そこはしっかりバランスをとった啓発が必要だと思います。
- このような宣誓をしなくとも、すんなり受け入れられる社会になればいいと思う。
多様性を尊重しあえるには、一人ひとりの意識改革が必要だ。
どうすればいいのか、考えていきたい。

Q6.他の性的少数者に関する人権や施策について、ご意見・ご感想等ありましたら自由にお書きください。

主な意見

- 様々なパターンがあり難しい問題だと思いますが、自分らしい生き方を差別なくできる社会になればいいと思います。
- 学校教育や社会教育の場で啓発活動を行わないと、差別はなくならないしLGBTを理解することは難しいと思う。
- 性の多様性と言っても、まだまだ世の中の理解や認知度は低いと思います。メディアや教育現場、職場などを通して拡げる努力が必要だと思います。
- 差別はよくないが、体が違うので何でも平等は、違うと思う。
- 個人の責任で生活すべきだと思います。行政は関わらない。
- なぜこのような人たちに偏見の目が向けるのかわからない。また、親をはじめとした親族から受け入れられてもらえないのは、悲しい。